

事務事業調書

平成27年度

事業No	460	課	土地改良課	係	農地整備係	起案者	岡田俊信
						決裁者	兒玉太郎
事務事業名	土地改良施設改良事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	5 活かにみちた環境づくり 1 農業 1 農業 1 生産基盤 2 基盤整備の推進			予算科目(会計)	一般会計	
				予算科目(款・項・目)	30-5-40	
				総合計画以外の計画		
				関連する総合計画の施策		
				性質区分	市の内部事務事業	
根拠法令	無					
法定受託事務	無					
公約・議会答弁	無					
陳情・市民要望	無					
実施方法	一部委託	委託先	民間企業			
実施期間	開始	平成20年度	経過	7年目	終了	期間
求める成果(目的)	誰(受益者)が	農業者が			~になる	土地改良施設を使用できる。
事務事業の内容	老朽化した農業用水路、排水路及び農道などの土地改良施設の機能を維持保全し、農業経営の安定化を図るため、補助金要綱に基づき、国県の交付を受けて施設改修工事等を実施します。					
改善・対策の履歴	県費補助事業は、県の財政状況により採択される事業に限られるため、地元からの要望により多く応えられるように平成24年度から国庫補助事業(農業基盤整備促進事業)に該当する事業は、国庫補助で対応しています。土地改良施設の修繕については、極力多面的機能支払交付金事業で対応するよう地元活動団体と調整します。					

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度	
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)	
総事業費	43,094	49,238	44,220	26,411	29,190	
財源計	38,054	46,718	41,700	23,891	27,300	
財源の内訳	国庫支出金	11,971	17,000	5,000	6,500	0
	県支出金	420	9,300	17,480	6,327	14,020
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	25,663	20,418	19,220	11,064	13,280
受益者負担金	0	0	0	0	0	
職員人件費 (従事職員数)	5,040 (0.80)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	1,890 (0.30)	
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0	

3 各活動にかかるコスト

		年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動1	活動名 (活動内容)	防火水槽・消化栓の整備	見込	0.00	1.00	2.00	2.00
			実績	0.00	1.00	0.00	
	指標名 (単位)	防火水槽・消化栓の設置数(基)	活動の総事業費(千円)	0	1,406	0	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	1,406.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)	農業用排水路の改修	見込	375.00	375.00	289.00	145.00
			実績	565.00	400.00	176.00	
	指標名 (単位)	排水路改修延長(m)	活動の総事業費(千円)	43,094	35,803	11,651	
			活動にかかるコスト(千円)	76.27	89.53	66.20	
活動3	活動名 (活動内容)	道路整備(用水路上部利用)	見込	0.00	250.00	250.00	250.00
			実績	0.00	128.00	178.00	
	指標名 (単位)	道路整備延長(m)	活動の総事業費(千円)	0	12,029	14,760	
			活動にかかるコスト(千円)	0.00	94.35	82.92	

4 成果指標と実績の推移

		指標名(単位)	年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	要望整備箇所数/市要望件数(%)		目標	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績	100.00	100.00	75.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成
成果2			目標				
			実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果

成果	<ul style="list-style-type: none"> 土地改良施設が更新されたことにより、農業者による草刈、泥上げ等の維持管理の負担軽減が図られました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

		内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
活動コスト	<ul style="list-style-type: none"> あいくる材、リサイクル材料を積極的に採用し、環境に配慮するとともにコスト縮減を図りました。 県費補助による消火栓設置工事が採択されず、施工を見送ったため、全体の活動コストは減少しました。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 補助金額は限りがあるため、県費補助事業、国庫補助事業・農地水保管理支払交付金事業に効率よく振り分けることで、地元からの多くの要望に応え、また施設の改修を推進することを目指しました。 消火栓を除き、要望施設の整備が行えました。 	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
	<p>排水路は特注品ではなく汎用品を使用し、コスト縮減を図ります。</p> <p>地元要望は、緊急性のあるものは迅速対処するとともに、内容を精査し、補助制度を活用できるもの、多面的機能支払交付金事業で対応できるもの等、よく判断して実施します。</p>

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	<p>農業の生産基盤を維持するため、農業用施設の改良、維持修繕を行う必要があります。地元要望の内容が円滑に達成できるように、常に愛知県西三河農林水産事務所と情報交換、調整を行います。</p>